



学校だより

10月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和8年9月30日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話 045-731-0606 FAX 045-713-7916

学校教育目標 藤の学び合い 響き合い

一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

えがおの はなが さくように

校長 保科 桂子

ながあめ がつ 長雨の9月でした。それでも、は ま み やす じかん こうてい こ たの す すがた み 校庭で子どもたちが楽しく過ごす姿が見られました。9月に、5年生は三浦宿泊体験学習やふれあいコンサートに出かけ、学校ではできない体験を積み重ねてきました。今年度も残り半年。頼れる最高学年に向けて更なる成長を期待して育てていきたいと思ひます。

どの学年も運動会の練習が始まりました。合間をぬって行事の多い10月は、子ども

もたちにとって心も体も忙しくなる時期です。そんな中で、校内のあちこちから聞こえてくる「笑い声」に、わたし すく 私 はいつも救われるような気持ちになります。あたた かわ こ 温かい笑ひは、子どもたちの心もほぐしてくれているでしょう。

わら たん 笑ひは単なる「楽しい気持ち」ではありません。きんねん のうかがく けんきゅう 近年の脳科学の研究では、笑うことでストレスホルモンであるコルチゾールが低下し、逆にドーパミンやセロトニンなどの“幸せホルモン”が増えることが示されています。これらは じゅうちゅうりょく いよく こうじょう ふか かか ぶっしつ 集中力や意欲の向上に深く関わる物質です。また、教育分野の研究でも、ユーモアが「学習内容を記憶しやすくする」「難しい内容を消化しやすくする」といった効果があるそうです。笑ひが生まれると、脳は予測・理解・修正といった高度な処理を行い、これが前向きな学習意欲につながるとされています。

こうした科学的な根拠は、私たちが日々の学校生活で感じていることと重なります。友達とおしゃべりをする中での笑ひ、先生のちょっとした言葉にクスツとする笑ひ、頑張った後にふっとこぼれる安堵の笑ひ。そうした温かい笑ひは、子どもたちの心を軽くし、安心させ、「やってみよう」という気持ちを自然と引き出してくれます。

いっばう わら 一方で、笑ひには注意が必要な場面もあります。誰かをからかったり、仲間外れにしたりする笑ひは、心に深い傷を残します。「わらわれた」ことがトラブルの元になることもあります。「目は口ほどにものを言う」とも言われますが、同じ笑ひではありながらも、相手に与える印象や引き起こす感情には大きな違いがあります。笑ひはふと漏れるものでもありますが、人間関係においては、コントロールの必要もあるかもしれません。

あいて おも 相手を思いやり、たが こころ 互いが心地よくなる「温かい笑ひ」。子どもたちが優しく笑えることは、学校生活だけでなく、長い人生においても大きな力になります。

ぎょうじ れんしゅう 行事の練習で疲れたとき、うまくいかに落ち込んだとき、友達や先生との温かい笑ひが、そっと背中を押してくれることがあります。笑ひは努力を軽やかにし、仲間とのつながりを深め、学校生活を豊かにしてくれます。子どもたちが安心して笑ひ合える学校づくりを、教職員一同で大切にしていきたいと思ひます。

タイトルの「笑顔の花が咲くように」は、9月の音楽集会で、2年生が歌った曲の題名です。明るく元気になる素敵な歌詞ともあいまって、2年生が自信をもつてのびのびと歌う姿が見られ、成長している様子にとってもうれしくなりました。「笑顔の花が咲いている」とはつまり、安心して笑ひ合える姿だなあと思ひます。

あたた かわ こ 温かい笑ひが、子どもたちの毎日を支え、未来へ向かう力になりますように。

